



2024年度 6年次生 総合薬学研究 卒業論文発表会開催

教務課

2024年6月17日(月)・18日(火)両日の午後、創立130周年記念館で卒業論文発表会を開催し、約330名の6年次生が発表しました。

薬学専門教育科目「総合薬学研究」は3年次後期から所属する分野等(研究室)の教員指導のもと、課題研究について研究手法を習得し、研究の楽しさ・難しさを学び、得られた結果の検討や成果をまとめて6年次に卒業論文発表会で発表します。



発表会はポスター形式で行い、ポスターの作成及び発表は英語で行います。発表する学生1名に対して、教員2名が質疑応答及び評価を行い、多角的な研究指導を行います。これによって発表後に取り組む卒業論文執筆にも良い影響が出るのが期待されています。

また、卒業論文発表会には学部4～6年次生及び大学院生が自由に参加し、学生同士の活発な議論も行われていますので、学部4～5年次生の研究意欲の向上にもつながったと考えています。

今年度の発表会も盛会のうちに全日程を終えることができました。関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

CONTENTS

■ イベント

2024年度 6年次生 総合薬学研究 卒業論文発表会開催…………… 1
理科実験講座

「身近な夏の不思議体験 2024 イン山科」…………… 11

■ 特集

京都薬科大学図書館のご案内…………… 4

■ お知らせ

京薬会だより…………… 3

生涯教育センターからのお知らせ…………… 14

人事異動…………… 21

■ コラム

事務局お仕事紹介…………… 13

卒業生からのメッセージ…………… 17

十人十色「地元での音楽との出会い」…………… 18

私の薦める、私の一冊…………… 19

学生相談室だより…………… 20

■ 報告

【寄稿】名誉教授授与にあたって…………… 3

2024年度京都薬科大学給付型奨学金表彰式を執り行いました…………… 7

薬用植物園の活動報告 Vol.3…………… 7

第109回薬剤師国家試験の結果について…………… 8

早期体験学習「プロダクト作成」

5年ぶりにポスター発表を行いました…………… 12

【寄稿】ユーベルコール部の今後の活動について…………… 12

「薬局・ドラッグストア選考対策ガイダンス」が開催されました…………… 16

2025年度大学院の入学選考結果…………… 17

病態生理学分野の戸田助教がFrankfurt Cancer

Conference の口頭発表者に選ばれました…………… 21

受賞・掲載…………… 22

京都薬科大学奨学金寄附金芳名録…………… 24

<2024年度 卒業論文発表会スケジュール>

日時		系	分野等
6/17 (月) 午後	13 : 30～13 : 50	準 備	
	第1部	分析薬科学	薬品分析学
			代謝分析学
			薬品物理化学
	13 : 50～14 : 40 14 : 40～15 : 30 (50分交代)	生命薬科学	衛生化学
			公衆衛生学
			微生物・感染制御学
			細胞生物学
			生化学
			病態生理学
	15 : 30～15 : 50	休憩・ポスター貼替	
	第2部 15 : 50～16 : 40 16 : 40～17 : 30 (50分交代)	病態薬科学	病態生化学
			薬物治療学
			臨床薬理学
			薬理学
			臨床腫瘍学
		統合薬科学 研究施設	シナジーラボ
			放射性同位元素研究センター
			共同利用機器センター

日時		系	分野等
6/18 (火) 午後	13 : 30～13 : 50	準 備	
	第3部 13 : 50～14 : 40 14 : 40～15 : 30 (50分交代)	医療薬科学	薬剤学
			薬物動態学
			臨床薬学
			臨床薬剤疫学
		薬学教育	臨床薬学教育研究センター
	15 : 30～15 : 50	休憩・ポスター貼替	
	第4部 15 : 50～16 : 30 16 : 30～17 : 10 (40分交代) ※	創薬科学	薬化学
			薬品製造学
			薬品化学
			生薬学
		基礎科学	健康科学
		附属施設	薬用植物園

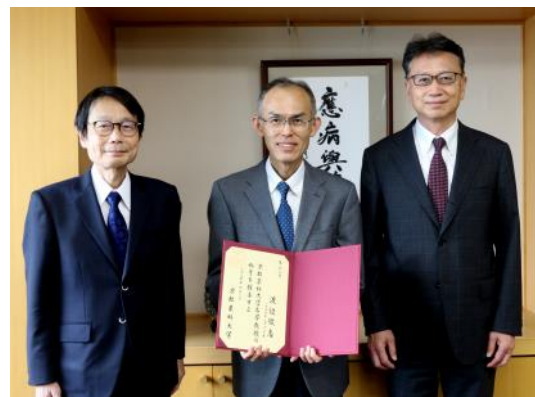
※第4部のみ40分交代

■ 名誉教授 渡辺 徹志

2024年7月3日（水）に、木曾理事長、西口副学長、松田事務局長、ご担当職員の皆様のご臨席のもと、赤路学長より2024年4月1日付「名誉教授称号第58号」を拝受いたしました。歴史と伝統のある京都薬科大学からこのような称号を授かることは、身に余る光栄であり、心より厚くお礼申し上げます。また、本学在職中にお世話になりました教職員の皆様並びに関係者の皆様に心より厚くお礼申し上げます。本称号に相応しい人物であるよう今後も精進してまいる所存です。

本学に在職した39年間に学部6年制への移行、度重なる薬学部の新設など本学と本学を取り巻く環境は大き

く変化しました。今後も様々な変化が起こることと存じますが、京都薬科大学が益々発展するよう祈念しております。



（左から）赤路学長、渡辺名誉教授、木曾理事長

News 京薬会だより

1. 京薬会では、京薬祭期間中の11月3日（日）の午後に卒業生対象のホームカミングデーを開催します。また、午前中は京薬祭実行委員会（学生）と協働して「在学生とOB/OGとの交流懇談会」を開催します。会場は、いずれも京都薬科大学躬行館講義室です。

詳細については、学内掲示板や京薬会ホームページでお知らせしています。交流懇談会には在学生の参加を、ホームカミングデーには卒業生の参加をお待ちしています。ホームカミングデー参加者には学祭模擬店で利用できる食券チケットを先着順に配布（枚数限定）します。

2. 歴史資料室だより

★『愛学躬行歴史資料室レター』No. 4を発刊しました★

7月3日に新しい日本銀行券が発行されましたが、すでに手にされたでしょうか。新千円札の肖像となった北里柴三郎に教えを受け、赤痢菌の発見者として知られる志賀潔の実弟にあたる佐藤政資先生（物理学・数学担当）が、長年にわたって京薬で教鞭をとられていましたので紹介しています。佐藤先生は、また図書の充実に努めて今日の本学図書館の基礎をつくられました。



★連続企画展「ルドルフ・レーマンと京薬の創立者たち」の開催期間変更★

本誌218号で、6月中旬より「PartI ルドルフ・レーマン 第2章 京都でのルドルフ・レーマンの事績」（仮題）を開催予定でしたが、諸般の事情により資料室を一時閉室せざるをえなくなりました。再開は9月中頃を予定しています。再開しましたら京薬会Webサイトに掲示します。

京都薬科大学図書館のご案内

本学図書館は、1959年に建設され、2010年に現在の躬行館 図書館棟（地下1階・地上1階・2階の3フロア）へ移設されました。2024年4月1日時点における蔵書数は医学・薬学分野の資料を中心に105,653冊、所蔵雑誌種数は1,198種（うち、洋雑誌は671種）で、研究室等の保管資料を除き、基本的には開架方式で利用者は自由に手に取って資料を閲覧することができます。また、冊子体だけでなく、およそ3,000タイトルの電子ジャーナルやデータベース等も整備するなど、本学学生、職員の学習、教育・研究活動の支援に努めています。

図書館長

Feature article.

開館時間	平日	8:30～21:00
	土曜	10:00～17:00
閲覧席数	303席	
総延面積	1554㎡	

※授業のない期間は短縮開館(8:30～17:00)となります

■フロア紹介

1階

■カウンター

資料の貸出、返却、予約や貸出期間の延長、リクエスト図書受付、利用に関する質問など、すべての手続きは図書館入退館ゲートのすぐ横にあるカウンターで承ります。

■新着図書コーナー

教育職員が推薦する学生用図書やTOEIC、資格試験関連の新刊など、図書館で新たに受け入れした図書をまとめて配架しています。

■ブラウジングコーナー

旅行ガイドやキャンパスの建つ京都の魅力を紹介した図書、文芸書などが並び、休み時間にソファに座ってゆったりと本を読んでいる姿がよく見られます。コーナーの一角には、毎年、楽しみにしている方も多い教育後援会からの寄贈図書が展示されています。芥川賞、直木賞受賞作をはじめ、学生アンケートによって選ばれたバラエティに富んだラインナップで、常に高い利用率を誇っています。その他にも、シラバスに掲載された参考書、KPU NEWSで紹介された図書、京都薬科大学の歴史や関連資料をまとめて配架しているコーナーもあります。図書館では、皆様の好奇心をかき立てられるようなテーマを考えて、定期的に図書の展示も実施していますので、ぜひ、のぞいてみてください。

■視聴覚資料コーナー

教育や学習に役立つDVDやVHS等を所蔵しています。また、『薬学倫理コーナー』にも「風に立つライオン」「潜水服は蝶の夢を見る」「untouchables」「わたしを離さないで」などのDVDが並び、館内での閲覧はもちろん、貸出も可能となっています。

■雑誌・新聞

国内及び国外の雑誌（冊子体）が並び、受入れから一定期間を経過したバック・ナンバーは、B1階の電動集密書架で保管しています。『新聞コーナー』では、朝日新聞、読売新聞、京都新聞、日本経済新聞、Japan Times、薬事日報、薬務公報等を閲覧できます。また、保管期間が過ぎた雑誌を譲渡するリサイクルフェアを年1回開催しており、人気のタイトルは初日ですべて持ち帰られるなど、たくさんの方にご利用いただいています。

■大判プリンター・コピー機

学会発表用ポスター等の印刷ができる大判プリンターを1台設置しています。学会や卒業研究発表などで利用が混み合う時期は、できるだけ早めに予約をお願いします。また、同じブース内に設置しているコピー機（コイン式）では、図書館の所蔵資料を著作権の範囲内で複写できます。



教育後援会からの寄贈図書コーナー



新聞閲覧席

2階

■図書（0総記～8言語）

図書は分類（日本十進分類法）され、背表紙に貼られた請求記号の番号順に書架に並んでいます。
辞書や統計、白書等、特定の事項について調べるための図書は『参考図書』として、別置しています。

■就職・資格・国家試験コーナー

薬剤師国家試験、TOEICなどの各種資格、検定、就職試験対策に関する参考書や問題集を配架しています。

■新書・文庫

岩波新書とブルーバックスは番号順、文庫本は著者名順（五十音順）に並んでいます。



書架（図書）



書架（文庫）



閲覧席

B1階

■図書・製本雑誌

固定書架と電動集密書架に刊行年が古い図書や文庫、新書など約33,000冊、製本雑誌（数冊まとめて合冊したもの）約49,000冊、貴重書庫には前身である私立京都薬学校時代に使用されていたノートなどを収蔵しています。

本学の礎石となった京都私立独逸学校を開校するに至った門人を育成したルドルフ・レーマン先生が校定した日本で最初の和独辞書『和獨對譯字林』（1877年刊行）も展示しています。



和独辞書

■図書館を活用しよう

■蔵書検索

京都薬科大学図書館で所蔵している資料はOPAC（Online Public Access Catalog）でスマートフォン等から検索できます。各フロアにも蔵書検索用パソコンを設置していますので、自由にご利用ください。



■電子リソース

図書館ホームページよりアクセスできます。「医中誌Web」「朝日新聞クロスサーチ」「今日の診療」「Scopus」「CAS SciFinder Discovery Platform for Academics」等は『データベースで探す』、その他の電子リソースは『電子ジャーナル・電子ブックリスト』よりご利用ください。（一部タイトルのみ学外からアクセス可）

■マイライブラリ

「借りた本の返却日が今日までなのを忘れていた…」そんな時は、マイライブラリより延長の手続きができます。ただし、返却期限が過ぎておらず、次の予約者がいない場合に限りしますので、ご注意ください。また、「借りたい本が貸出中だった」時もマイライブラリより予約ができますので、ぜひ、ご利用ください。

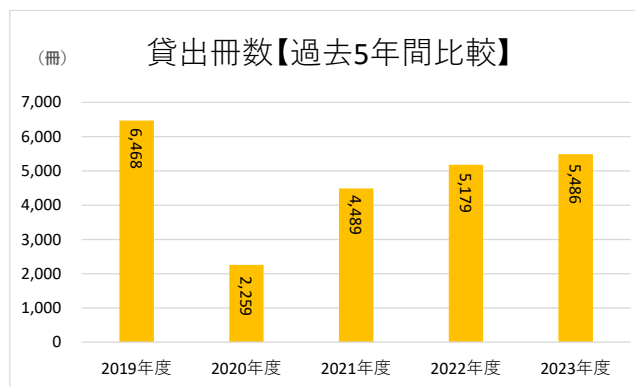
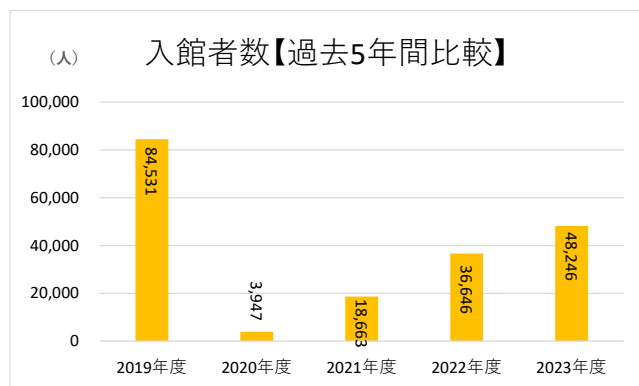
【マイライブラリとは】

Web上で返却期限の確認、予約、貸出資料の延長、借りた資料の履歴確認、学外への文献複写申込等のサービスを利用できます。なお、ログインには、Office365のアカウントが必要です。

■リクエスト

読みたい本が図書館にない時は、資料の購入をリクエストすることができます。図書館ホームページまたは館内に設置している「購入希望図書申込書」に必要事項を記入のうえ、ご提出ください（審議の結果、購入できない場合があります）。また、必要な資料を他大学図書館より借り受けるサービス（有料）も実施しています。お目当ての資料が図書館にない場合、まずはカウンターへご相談ください。

■ 図書館利用統計



2022年度以降、対面授業が増えてきたことに伴い、入館者数、貸出冊数ともに徐々に増加傾向を示しています。2023年度においては、コロナ禍前の2019年度と比較して、入館者数は6割弱程度、貸出冊数は8割ほどに回復しました。コロナ禍において、感染拡大防止対策のため、臨時休館や開館時間の短縮、閲覧席数の制限等が余儀なくされるなか、新たなサービスもいくつか開始しました。他大学への訪問利用が困難となった状況を鑑み、2022年度よりスタートした現物貸借サービスや電子ブック（Maruzen e-Book Library）のリファラ認証によるリモート利用、カウンター横に設置した返却ボックス等は今でも活用されています。“薬・学・知”の拠点として相応しい環境を目指し、これからも様々な取り組みの充実を図っていきます。

図書館で開催しているイベント



リサイクルフェア

資源の有効活用をはかるため、年に1回リサイクルフェアを開催し、保管期間の過ぎた雑誌等を利用者へ提供しています。また、2023年度からは不用となった図書の配布も開始し、多くの方々にご利用いただいています。今年度は11月の開催を予定していますので、ぜひ掘り出し物を見つけにきてください。



講習会

学術論文や特許などの文献、化学物質、反応情報を検索できるデータベース・CAS SciFinderの基本的な操作方法や実践的な検索テクニックなどを学べるオンライン講習会を開催するほか、出版社等が主催する学習・研究に役立つセミナーの情報も図書館ホームページで随時発信しています。

展示

展示コーナーでは、学生の皆さんの読書活動支援を目的として、特定のテーマに基づいて図書を紹介しています。普段はなかなか触れることのない分野の図書に出会うことで、新しい発見や興味が広がるきっかけになれば、と3ヶ月ごとにテーマを変え、展示資料も入替しています。また、折々のタイムリーな話題に合わせたミニ展示も都度、実施しています。目に留まりやすい入館ゲート付近に並んでいますので、少しでも気になった本があればぜひ手に取ってみてください。



2024年度京都薬科大学給付型奨学金表彰式を執り行いました

Report

学生課

本学では、優秀な人材の育成、成績向上並びに活力の醸成を図ることを目的に、給付型奨学金制度を設けております。今年度は、合計80名（大学院入試成績優秀者4名、新入生特待生3名、学部成績優秀者72名、研究・課外活動優秀者1名）の奨学生が選出され、奨学金が給付されました。表彰式は、7月3日（水）に執り行われ、木曾理事長から奨学生の心構えについての訓示と、表彰状が授与されました。

学生の修学支援のためのこれらの奨学金は、卒業生（京薬会会員）、法人役員、職員、教育後援会会員の皆様からのご寄付により成り立っております。

皆様からの多大なるご協力に本誌面をお借りして厚く御礼申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



表彰状授与の様子



奨学生の皆さん

薬用植物園の活動報告 Vol. 3

Report

薬用植物園

京都漢方研究会野外研修の開催

薬用植物園は、原則一般公開していませんが、団体に限り（事前に見学申し込みが必要）、見学会を実施しています。コロナ禍には一時休止をしていましたが、昨年から見学に関する問い合わせも増え、今年度も薬用植物園、御陵園の見学を予定しています。6月には、京都漢方研究会が野外研修の一環として来園され、生薬として利用される薬用植物の生きた姿を観察し、繁殖方法の研修としてアマチャやクチナシの挿し木体験を行いました。京都漢方研究会は21世紀における新しい漢方医学を習得できる場として設立され、9月から12月には、本学生涯教育センターと共催で漢方講座を実施しています。



挿し木したアマチャとクチナシ

【植物紹介】

* アマチャ *Hydrangea macrophylla* Seringe var. *thunbergii* Makino

日本原産のユキノシタ科（APG: アジサイ科）の落葉低木。葉および枝先を生薬「アマチャ」（甘茶）として利用します。アジサイの仲間、庭先や公園等に植えられるアジサイとよく似ていますが、アマチャの葉には甘味成分であるフィロズルチンが含まれており、煮出して飲むと独特の甘さがあります。フィロズルチンは生の葉では一部が配糖体の状態で含まれ、収穫後の加工によって配糖体が分解されて生成することが分かっており、適切な加工を必要とする生薬の1つです。

【活動状況（2023年12月1日～2024年8月31日）】

- ・学内見学 基礎演習科目 本園3件 / 御陵園1件
部活動等 本園2件
- ・学外見学 本園2件 / 御陵園1件
- ・漢方薬生薬認定薬剤師 研修会 本園1件

植物園のinstagramはこちらから
ご覧ください。



開花期のアマチャ
（薬用植物園で撮影）

第109回薬剤師国家試験の結果について

ストレート（6年）で卒業し、1回で合格しよう！

そのためには低学年次から丸暗記ではなく理解を伴う学修の積み重ねが重要

Report

薬学教育研究センター長 細井 信造

6年制薬学となり13回目の第109回薬剤師国家試験が2024年（令和6年）2月17日、18日に実施されました。第106回から新薬剤師国家試験出題基準に準拠して出題されています。今回の試験は前回の第108回に比べて難化傾向がみられました。以下のことが特記事項として挙げられます。

- ◆全ての科目で医療や臨床に関連した問題が多くなり、特に「薬学教育モデルコアカリキュラム（令和4年改訂版）」の個別最適化医療を意識した、複数の疾患を合併した患者への対応を問う問題、個々の症候や検査値から判断して処方提案等（処方医、研修医、看護師）を行う問題などチーム医療の一員として臨床現場で薬剤師に求められる「問題解決能力」が問われる問題が数多く出題されていました。
- ◆薬学実践問題・実務実践問題ではほとんどの問題が、症例・処方・検査値に関するものでしたが、薬学理論問題でも、症例・処方・検査値をリード文とした長文問題や連問が増加し、臨床現場での知識や科目間の知識を繋げる学修が求められる内容でした。
- ◆医薬品の構造式を用いた問題が、化学のみならず衛生、薬理、薬剤でも出題され、また代表的8疾患（がん、高血圧症、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫・アレルギー疾患、感染症）に基づいた問題も継続して出題されていました。
- ◆生薬・漢方については、従前の出題内容ではなく副作用やその機序といった臨床での応用を意識した出題でした。
- ◆実務実習中の学生が医薬品・医療機器等安全性情報報告制度に基づき、医薬品安全性情報報告書の作成の練習をするといった新傾向の問題が出題されました。
- ◆地域連携薬局、チーム医療や医療計画策定など薬剤師を取り巻く環境を把握しておく問題が増加しており、また組換え体医薬品、コンパニオン診断やバイオ医薬品など最新医療についても継続して出題されています。

薬学理論問題では「物理・化学・生物」の2連問、「物理・化学・生物」、「衛生」と「法規・制度・倫理」の3連問、「薬理」と「病態・薬物治療」の2連問が3題、「薬剤」の2連問など同一科目や科目横断的な問題が出題され、このような連問は今後益々増えていくことが予想されます。全体的には、「日々医療情報を収集し、幅広い知識をベースとした問題解決能力を持った薬剤師を国は求めている」問題であったように感じました。

表1. 男女別、設置主体別合格率

(1) 男女別合格率①					(2) 男女別合格率②				
区分	総数	男		女	区分	総数	男		女
出願者	15,118名	5,894名	(38.99%)	9,224名 (61.01%)	6年制 新卒	出願者	9,582名	3,495名 (36.47%)	6,087名 (63.53%)
受験者	13,585名	5,179名 (38.12%)	8,406名 (61.88%)	受験者		8,416名	2,997名 (35.61%)	5,419名 (64.39%)	
合格者	9,296名	3,362名 (36.17%)	5,934名 (63.83%)	合格者		7,100名	2,531名 (35.65%)	4,569名 (64.35%)	
合格率	68.43%	64.92%		70.59%		合格率	84.36%	84.45%	84.31%
					6年制 既卒	出願者	5,284名	2,245名 (42.49%)	3,039名 (57.51%)
						受験者	4,957名	2,055名 (41.46%)	2,902名 (58.54%)
						合格者	2,103名	782名 (37.18%)	1,321名 (62.82%)
						合格率	42.42%	38.05%	45.52%
					その他	出願者	252名	154名 (61.11%)	98名 (38.89%)
						受験者	212名	127名 (59.91%)	85名 (40.09%)
						合格者	93名	49名 (52.69%)	44名 (47.31%)
						合格率	43.87%	38.58%	51.76%

(3) 設置主体別合格率																
区分	総数				6年制新卒				6年制既卒				その他			
	出願者	受験者	合格者	合格率	出願者	受験者	合格者	合格率	出願者	受験者	合格者	合格率	出願者	受験者	合格者	合格率
国立	635名	613名	514名	83.85%	468名	462名	416名	90.04%	69名	63名	36名	57.14%	98名	88名	62名	70.45%
公立	419名	412名	353名	85.68%	368名	367名	333名	90.74%	37名	33名	12名	36.36%	14名	12名	8名	66.67%
私立	14,062名	12,558名	8,428名	67.11%	8,746名	7,587名	6,351名	83.71%	5,178名	4,861名	2,055名	42.28%	138名	110名	22名	20.00%
その他	2名	2名	1名	50.00%	0名	0名	0名	0.00%	0名	0名	0名	0.00%	2名	2名	1名	50.00%
本学	464名	448名	380名	84.82%	419名	406名	354名	87.19%	43	40	26	65.00%	2	2	0	0.00%

さて、今回の試験では国公私立併せて74大学15,118名が出願し受験者総数13,585名中、合格者は9,296名で合格率は68.43%（第108回：69.00%）でした。6年制新卒の全国合格率は84.36%と第108回（84.86%）に比べ僅かに低下しました。また、6年制既卒者の合格率は42.42%（第108回：44.05%）と前回と同様に新卒に比べてかなり低く、新卒合格率との差がさらに大きくなりました。本学では新卒者406名が受験し、合格者は354名（合格率87.19%）、6年制既卒者は40名受験して合格者は26名（合格率65.00%）、4年制既卒者は2名受験して合格者は0名、本学総合合格率は84.82%で、全国総合14位（第108回：7位）でした。2023年度はCOVID-19の5類移行に伴い、多くの制限が緩和され対面授業に戻りました。新卒合格率だけを見ると前回より低下（-3.7ポイント）していますが、6年次留年率（2022年度：9.1%→2023年度：3.6%）およびストレート国試合格率（2018年度入学者：78.9%；2017年度入学者：72.6%）の改善が見られました。その要因として以下のことが挙げられます。1) 指定学生の在り方、選定基準および実施内容

を見直したこと、特に2次指定学生（＝重点学修支援対象者）に対して、国家試験に特化したものとし、各科目（9科目）について精選問題集の作成及び問題解説を行ったこと（指定外学生にとっても役立ったようです）、2) 反復学修の一つの機会として前年度に続いてデイリーテスト及びウィークリーテストを実施したこと、3) アドバンスト薬学本試験不合格者に対して、上記精選問題集や国家試験既出問題への取り組みを促し、適宜学修相談・支援を実施したこと、4) 学内教員および外部講師による講義の質問対応の機会を設けたこと、5) 当センター教員による質問対応および個別の学修相談などきめ細かな学修フォローアップを行ったこと、6) 前年度に続いて直前講習を7科目実施したこと、など。

次に、今春卒業した本学6年制13期生の評定平均と国家試験合否との関係を調べました。表2に示すように、これまでと同様、評定平均と卒業・合格率との間に明確な相関が見てとれます。即ち、評定平均が下がるにつれて、卒業・合格率が低下傾向にあります。このことは、1年次からの学修の積み重ねが如何に大切かを物語っています。単位を取得するためだけの勉強ではなく、真摯に学問に向き合い、普段から将来の医療従事者としての自覚や国家試験等を見据えた高い学修意識を持つことが肝要と考えます。

表2. 評定平均と国家試験の合否との関係

評定平均 ※1	学生数	卒業者	合格者	不合格者	卒業・合格率
95点以上	0	0	0	0	—
90点以上95点未満	12	12	12	0	100.0%
85点以上90点未満	46	46	46	0	100.0%
80点以上85点未満	81	81	77	4	95.1%
75点以上80点未満	122	122	117	5	95.9%
70点以上75点未満※2	110	105	83	22	75.5%
65点以上70点未満 ※3	48	39	19	20	39.6%
65点未満	1	1	0	1	0.0%

※1 専門必修講義科目の平均点
 ※2 後期休学者1名を除く
 ※3 国家試験受験未申請者1名を含む

本学6年制13期生に対しても、これまでと同様に今後の教育および国家試験対策に利活用する目的で、国家試験の解答データ入力への協力を要請したところ、406名の受験者中305名が入力してくれました（入力率75.1%、前回：83.6%）。表3に示すように、本学総合正答率は70.8%（厚労省通知）と前年度（78.2%）に比べて7.4ポイント低下したことから、難易度は前回に比べて上がったと言えます。また、新卒について問題区分ごとの正答率を全国平均と比較すると、何れも僅かに上回っています（必須問題：+0.9ポイント；薬学理論問題：+1.6ポイント；薬学実践問題：+0.9ポイント；総合：+1.1ポイント）。

表3. 科目別・問題区分別平均正答率

問題区分	必 須 問 題							
科目	物理・化学・生物	衛生	薬理	薬剤	病態・薬物治療	法規・制度・倫理	実務	合計
問題数	15	10	15	15	15	10	10	90
最低点	5	4	5	6	2	3	6	44
平均点	11.3	7.8	13.2	12.8	11.4	7.9	9.1	73.4
最高点	15	10	15	15	15	10	10	89
平均正答率	75.2%	77.7%	87.8%	85.1%	75.9%	78.9%	91.4%	81.6%
学内全体（新卒）								80.4%
全国（新卒）								79.5%

問題区分	薬 学 理 論 問 題							
科目	物理・化学・生物	衛生	薬理	薬剤	病態・薬物治療	法規・制度・倫理	実務	合計
問題数	30	20	15	15	15	10		105
最低点	7	4	1	2	4	1		34
平均点	17.9	11.6	9.8	10.3	11.4	7.3		68.4
最高点	29	20	15	15	15	10		104
平均正答率	59.7%	58.0%	65.7%	68.4%	76.3%	72.9%		65.1%
学内全体（新卒）								63.7%
全国（新卒）								62.1%

問題区分	薬 学 実 践 問 題								
科目	物理・化学・生物	衛生	薬理	薬剤	病態・薬物治療	法規・制度・倫理	実務	合計	総合計
問題数	15	10	10	10	10	10	84	149	344
最低点	4	3	2	2	3	2	38	66	149
平均点	9.3	7.9	7.0	6.6	7.8	7.1	59.8	105.4	247.2
最高点	15	10	10	10	10	10	81	144	337
平均正答率	61.9%	79.3%	69.5%	66.1%	78.4%	70.6%	71.2%	70.8%	71.9%
学内全体（新卒）								70.0%	70.8%
全国（新卒）								69.1%	69.7%

注：青色および赤色のデータは：厚労省通知のデータ

第109回薬剤師国家試験における正答率の高い問題および低い問題の得点率と総得点率の相関を示します。正答率60%以上の問題（246題）と総得点率には強い相関が見られました（図1）。一方、正答率60%未満の問題（98題）と総得点率との相関は、正答率60%以上の問題との相関に比べると低いものでありました（図2）。このことから、国家試験の合格基準をクリアするには、受験者の大半が正解する問題をしっかりと得点に結びつけることが大事なことが分かります。そのためには、6年次に実施される模擬試験（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）の結果を見て、全体の正答率が高い問題で自分が間違った問題については、必ず見直し定着させるよう努めることが重要です。

図1

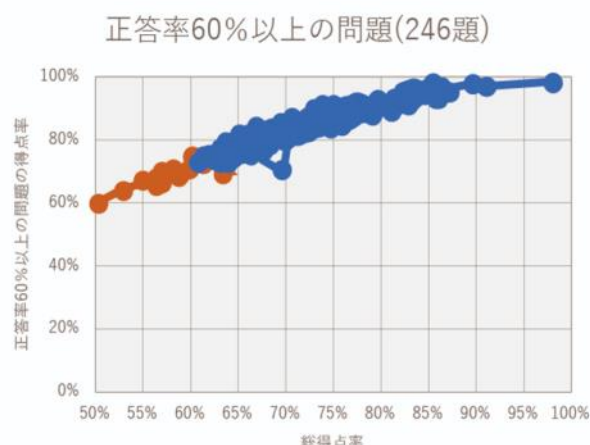
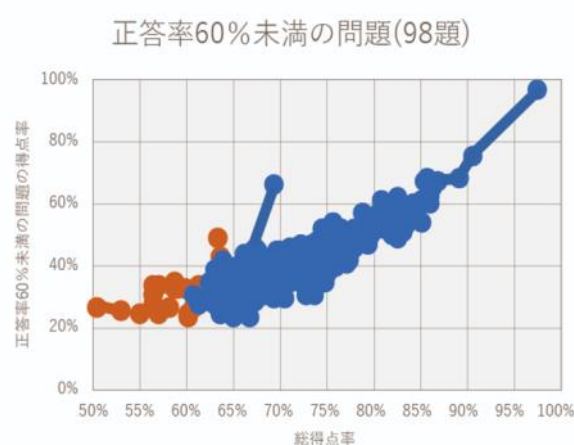


図2



青：国試合格者；赤：国試不合格者

<第110回薬剤師国家試験に向けて>

第109回薬剤師国家試験はやや難化し、付け焼刃的な学修では対応できなくなっています。つまり、低学年次からの学修の積み重ねが重要であり、6年次になって焦って慌てて勉強しても間に合わない可能性が高くなります。学部での講義、演習、実習および研究の一つ一つに真摯に向き合ってください。

以下に各学年の皆さんへ大事なことをお伝えします。

1～3年次生の皆さん：1年次から国家試験対策をしましょう！と言っているわけではありません。日々の学修に取り組み、学問を楽しんでください。理解を伴わない丸暗記学修はお勧めしません。

4～6年次生の皆さん：第109回薬剤師国家試験問題（厚労省のHPに掲載）を確認し、どのような内容が問われているかを知ること、以後の講義、実務実習等のモチベーション向上に繋がるはずです。物理・化学・生物は他の科目の基礎であり、定着するには時間がかかるため、反復学修が重要となります。特に、薬理は国家試験において、合格者と不合格者との正答率の差が大きいことが明らかとなっている科目の一つです。

国家試験では内容が偏ることなく科目間の壁を越えて出題されるので、重要項目を中心に理解しながら、また他の科目と関連付けて勉強することも大切です。今、成績がよくない、あるいは先行きが不安であると感じている学生は、これまでの勉強方法に問題点はないか検証し、早急に実効性のある勉強法の確立を目指しましょう。分からないことを放置するのではなく、ちょっとしたことにも疑問を持ち、直ぐに調べ、解決するように努めることも大切です。友達と一緒に勉強し、教え合うことも有効な学修方法の一つです。また、各分野・センターに配付している「学修体験記 - 先輩からのメッセージ -」を学修計画立案の参考にしてください。各科目の内容に関する質問については『オフィスアワー』を、学修に関する悩み相談については薬学教育研究センターの『学びコンシェルジュ』を是非利用して下さい。国家資格取得は、あくまでも通過点にすぎません。皆さんそれぞれの目標（夢）を達成（叶える）するためには平素の努力の積み重ねと早めの行動が大切です。

13期生（第109回薬剤師国家試験受験者）学修体験記
先輩からのメッセージ

薬学教育研究センター

7月28日（日）本学A22実習室にて、市民組織「山科区『はぐくみ』ネットワーク実行委員会」と共に、理科実験講座「身近な夏の不思議体験 2024 イン山科」を開催しました。地域の小学生に理科の楽しさを知ってもらいたいと始まった本講座は今年で13回目を迎え、山科区の小学生にとって夏の恒例行事になっています。

当日は、山科区の小学生82名が午前と午後の部に分かれて参加し、学生実習支援センター教員と企画・広報課職員のほか、地域ボランティアスタッフのサポートのもと、白衣に身を包み実験を行いました。今年のテーマは植物の色素「アントシアニン」です。pHにより様々な色に変化する性質を利用した2つの実験を通して身近な科学の不思議を体験しました。

1つ目の実験「紫色の秘密～植物の色素で身近な溶液を調べよう～」では、アントシアニンを多く含む紫いもを使用し、レモン汁や虫刺され外用薬などの身の回りにある溶液の性質を調べました。紫いも液に身近な溶液を加えた瞬間の色が変化するように目を輝かせ、一つ一つの溶液の結果を熱心に観察している子どもたちの姿が印象的でした。



色の変化を観察中



結果をまとめてみよう

2つ目の実験「寒天に3D模様をつけてみよう」は1つ目の実験の発展編です。アントシアニンの性質と食塩水の電気分解を利用して、紫キャベツ液で作った寒天に電気を流し、模様をつけてもらいました。青紫色の寒天が電極の＋極では赤色に、－極では黄色～緑色に変化する様子に「色が変わった!」、「こんな模様をつけたよ!」と会場は盛り上がり、子どもたちの自由な発想で、夢中になって取り組んでいました。



どんな模様になるかな?



上手にできました!

実験終了後のアンケートでは、「知らない友達と一緒に実験をしたり、もっと理科が好きになりました。本当に不思議体験で楽しかったです。」、「理科が大好きになった。」、「理科のおもしろいことや不思議なことをたくさん知れてうれしかった。」

などの感想が寄せられました。今年度も実験を通して、参加した子どもたちに理科の楽しさを感じてもらえたことをとても嬉しく思います。また、「もっと理科のことを知れて、いろいろなことができて楽しかったです。また家でもやりたいと思いました。」、「今年の自由研究にしたいと思っています。」など家でも試してみたいという声も多くあり、理科への興味喚起およびその継続のきっかけにもなったと感じています。



溶液の性質に興味津々です

理科実験講座の実施にあたり、20名の地域ボランティアスタッフの方々にご協力をいただき、各実験台にて子どもたちの実験をきめ細かくサポートしていただきました。地域ボランティアスタッフの存在は欠かすことはできません。最後に、この場を借りて市民組織「山科区『はぐくみ』ネットワーク実行委員会」の皆様へ深く感謝申し上げます。



地域ボランティアスタッフのサポートは欠かせません

今後も地域に根差した大学の役割として、近隣学区の児童の理科教育の一助となれるよう、市民組織と共にこの取り組みを継続していきたいと考えています。なお、本講座は独立行政法人 国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」の助成を受けて実施いたしました。

早期体験学習「プロダクト作成」 5年ぶりにポスター発表を行いました

Report

教務課

2024年7月11日（木）に1年次生早期体験学習「プロダクト作成」の最終発表が行われました。2020年度から2023年度まではコロナ禍で感染拡大防止対策のためPowerPointを使用した口頭発表形式でしたが、今年度は5年ぶりにポスター発表形式とし、本学創立130周年記念館で各グループが発表・意見交換を行いました。

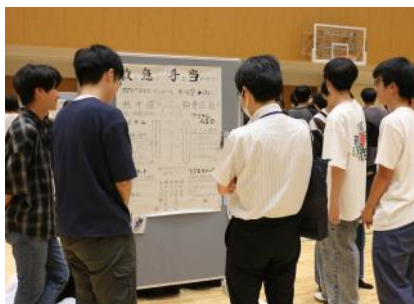
このプログラムでは「企業を知る」「病院・薬局を知る」などを題材にグループに分かれて議論を行い、

役割分担やテーマ設定、最終発表のポスター作成まで学生が主体となって取り組んでいます。

ポスター発表では自身のグループの発表だけでなく他のグループの発表を聞いて積極的に意見交換している学生の姿がみられました。発表終了後は学生自身及び教員の投票により、ベストポスター賞が決定され、選ばれたポスターは愛学館1階に掲示されました。



プロダクト作成の様子



発表・意見交換会の様子



ベストポスター賞（3件）

【寄稿】合唱部（ユーベルコール）の今後の活動について

Report

合唱部（ユーベルコール）

〈2024年8月までの活動〉

4月1日 入学式で学歌斉唱 5月26日 第61回京都合唱祭 in ロームシアター京都 参加
6月13日 新入生歓迎会 8月13・14日 夏合宿

2024年度は、OB・OGの方々と京都合唱祭に参加〔心の瞳・Salve Regina 披露〕したり、一泊二日の夏合宿を行ったりと、充実した活動ができました。部員の数も増え、日々の練習も賑やかになってきました。夏合宿では、10月に京都市東部文化会館であるコーラスフェスティバルや学祭に向けての練習、さらにBBQやカードゲームなどをして親睦を深めました。



京都合唱祭での集合写真



夏合宿の様子

〈今後の活動予定〉

10月27日 コーラスフェスティバル in 京都市東部文化会館 出演
11月2日 京薬祭 ステージ発表
11月23日 京薬会・京都・滋賀・奈良支部 合同総会「京都薬科大学創立140周年記念ホームカミングデー『あの日にかえりたい』」in 京都薬科大学 出演
12月中旬 クリスマスコンサート in ラクト山科ショッピングセンター 出演
3月15日 卒業式で学歌斉唱

10月のコーラスフェスティバルでは、岡本真夜作詞・作曲の『TOMORROW』とミマス作詞・作曲の『COSMOS』、11月の京薬祭では『TOMORROW』とAyase (YOASOBI) 作詞・作曲の『群青』を披露する予定です。

普段の練習は毎週木曜の16時～19時に奏楽館の共同練習場にて行っています。発表前は土日や他の曜日に練習する場合もあります。和気あいあいと楽しく練習していますので、是非私たちの歌声を聴きにいらしてください。

■ 第6弾 実務・生涯教育課

こんにちは。KPU^{NEWS}編集委員の学生です。今回は、実務・生涯教育課について取材したので、紹介します。実務・生涯教育課はあまり聞き馴染みがない方も多いかもしれませんが、どのような業務を行なっているのでしょうか。

実務・生涯教育課は愛学館1階事務室にあり、5人の方が働いています。主な仕事内容としては5年次に行われる実務実習に関する事務手続きや実務実習施設調整事務、生涯教育プログラムの企画・運営・広報、受講者の管理・サポートなどがあります。それぞれの仕事内容について詳しく説明します。

実務実習の事務手続きとしては、それぞれの実習先である病院・薬局との契約の締結、実習費の支払いが挙げられます。また、病院によっては病院独自の書類の提出が求められ、書類を作成します。実務実習の準備は4年次からはじまり、学生の希望を調査して実習先を決定します。

生涯教育については社会人向けのプログラムを展開しており「生涯研修プログラム」、「リカレント教育プログラム」、「公開講座」の3つの括りに分けられます。「生涯研修プログラム」はジェネラルな内容で薬剤師が広く学べる内容であり、「リカレント教育プログラム」はより専門的で到達目標が具体的な内容の教育を提供し、「公開講座」は一般市民のためになる情報を発信しています。講座の内容はニーズに合わせて毎回変えており、幅広い世代の方が受講しています。「生涯研修プログラム」として卒後教育講座や漢方講座など、「リカレント教育プログラム」としてLehmann（レーマン）プログラムを実施しています。Lehmann（レーマン）プログラムでは1年を通して対面やオンラインで専門・認定薬剤師取得支援などを行います。チラシやHPを通しての広報活動も行なっています。

最後に、実務・生涯教育課からのメッセージを紹介します。

実務実習は、大学の外で学ぶ機会となることから、様々なルールや手続きが発生します。これらの情報を取りこぼして自身が困らないように、大学からのメールをタイムリーに受信できるようにしておいてください。また、4年次生になる前から母子手帳で麻疹・風疹・水痘・おたふく風邪のワクチンの接種の有無を確認しておいてください。本学学生であれば、「生涯研修プログラム」の各講義やLehmann（レーマン）プログラムの成果発表会（2月実施）は、生涯学習として無料で聴講可能なので是非参加してみてください。

少しは実務・生涯教育課について知ることができたでしょうか。気になった人は大学のHPなどから調べてみてください。ではまた次回。

● バックナンバー

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 第1弾 企画・広報課／No. 212（2023年1月号） | 第2弾 進路支援課／No. 213（2023年4月号） |
| 第3弾 情報管理推進室／No. 214（2023年7月号） | 第4弾 教務課・学生課／No. 216（2024年1月号） |
| 第5弾 入試課／No. 218（2024年7月号） | |

掲載されているKPU^{NEWS}は本学公式Webサイト (<https://www.kyoto-phu.ac.jp/other/publicity/>) よりご覧ください。



愛学館1階事務室内
このプレートが目印です



編集委員による取材の様子



●「現在申込受付中」および「今後申込受付を開始予定」の研修会をご紹介します。皆様のご参加をお待ちしています。

◆2024年度eラーニング講座

配信開始しています。ニーズに合ったコースを選択して受講できます。

配信期間中

いつでも申込できる！

*配信期間：2024年6月1日(土)～2025年2月28日(金)

*参加費：①全視聴コース 30,500円、②当年度コース 22,500円、③卒後コース 20,500円、
④漢方コース 24,500円

*申込受付期間：2025年2月24日(月)まで *認定単位：G24 1単位/コンテンツ

*過去にeラーニング講座や卒後教育講座・漢方講座を受講して既に認定単位を取得しているコンテンツは、視聴は可能ですが単位の認定はありません。

	全視聴	当年度	卒後	漢方		新規 2024配信コンテンツ ※収録後、順次追加していきます。
1	○	○	○		2	感染症治療の基本的な考え方
2	○	○	○		0	女性の健康と薬剤師のかかわり
3	○	○	○		2	がん治療の変遷から胃がん外科医が経験してきたこと～
4	○	○	○		4	がん薬物療法を受ける患者の自分らしく過ごすをどう支えるか～薬剤師と看護師の協働～
5	○	○	○		年	がん薬物療法における薬剤師の役割～過去、現在、そしてこれから～
6	○	○	○		度	ミトコンドリア/ATPシグナルと2型糖尿病
7	○	○	○		卒	ミトコンドリアと糖尿病治療戦略
8	○	○	○		後	CKD診療とくすり
9	○	○	○		教	薬剤師が取り組む！薬剤性腎症を予防する取り組み
10	○	○	○		育	小児医療と薬剤師のかかわり
11	○	○		○		【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―月経痛―
12	○	○		○		【薬物等】漢方製剤の品質評価(仮題)
13	○	○		○	2	【臨床】ペインクリニック領域の漢方治療
14	○	○		○	0	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―動悸―
15	○	○		○	2	【薬物等】知っておきたい漢方配合生薬(その4)
16	○	○		○	4	【臨床】消化器領域の漢方治療
17	○	○		○	年	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―疲労倦怠感―
18	○	○		○	度	【薬物等】生薬の選品と鑑別(5)
19	○	○		○	漢	【臨床】不妊治療-妊娠前から行う漢方治療について
20	○	○		○	方	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―肥満―
21	○	○		○	講	【薬物等】薬局薬剤師ができる研究活動
22	○	○		○	座	【臨床】皮膚科診療における漢方治療～座瘡を中心に～
	全視聴	当年度	卒後	漢方		2023配信コンテンツ
23	○		○		2	脳卒中診療における薬物療法
24	○		○		0	オンライン服薬指導とファーマシューティカルコミュニケーション
25	○		○		2	心不全患者の包括的管理
26	○		○		3	臨床推論の考え方、活かし方
27	○		○		年	急変対応～あなたが職場で倒れたら～確実な急変対応を共有しよう！
28	○		○		度	脳死患者の臓器提供を見据えた全身管理
29	○		○		卒	2型糖尿病における薬物療法
30	○		○		後	ビッグデータを活用した医療薬学研究
31	○		○		教	医療用添付文書の活用～IFやRMP、審査報告書でしか分からないこととは～
32	○		○		育	医療DXと薬剤師の業務
33	○			○		【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―めまい―
34	○			○		【薬物等】健康管理を担う薬剤師のための漢方講座
35	○			○	2	【臨床】眼科領域における漢方の役割～緑内障・ドライアイ・眼底出血を中心に～
36	○			○	0	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―排尿異常―
37	○			○	2	【薬物等】認知機能の維持・改善に有効な生薬・漢方薬について
38	○			○	3	【臨床】効かせる漢方(更年期のQOL向上のために)
39	○			○	年	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―胃腸障害①(食欲不振・胸焼け)―
40	○			○	度	【薬物等】生薬の選品と鑑別(4)～桂皮～
41	○			○	漢	【臨床】フレイル・サルコペニアと循環器領域の漢方
42	○			○	方	【基礎】セルフメディケーション領域の漢方―胃腸障害②(胃痛・腹痛)―
43	○			○	講	【薬物等】知っておきたい漢方配合生薬(その3)
44	○			○	座	【臨床】本音で語る！アトピー性皮膚炎治療における漢方の実力・臨床力・癒し力

◆2024年度実務支援セミナー
～在宅医療における注射薬の設備導入とポイント～

【20名限定！】
お申込みはお早目に！

今回、新たに在宅医療に焦点を当て、無菌調製および注射混合を学びます。導入講義では在宅医療における無菌設備の基本知識やPCAポンプの使用法など、実技実習では、クリーンベンチや安全キャビネット内で注射薬の取扱い、無菌操作、輸液・TPNの混合調製手技等を丁寧に学びます。参加者間で日頃の疑問等も共有できますので、地域連携薬局を目指す薬局・薬剤師の方々は、この機会をぜひご活用ください。



- *開催日時：2025年2月23日（日） 10:00～16:00
- *開催場所：京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター ※別途、事前eラーニング(90分)あり
- *定員：20名（薬剤師限定） *参加費：10,500円（受講料10,000円、事務手数料500円）
- *申込受付期間：2024年12月4日（水）～2025年2月10日（月）
- *認定単位：G24 4.5単位（事前eラーニング1単位含む）

プログラム		
事前配信(eラーニング)		・注射薬無菌混合調製に必要な基本的知識 ・外来化学療法の実際
10:00～11:15	導入講義	・無菌設備導入に関する制度改正と環境の変化 ・2024年調剤報酬改定での無菌製剤に対する報酬の変化 ・PCAポンプを使ったオピオイドの無菌調製
11:20～12:20	ランチョンミーティング	・情報共有・意見交換
12:30～15:00	実技実習	・衛生的手洗い（ラビング法、スクラブ法） ・ガウン、手袋、帽子、マスクの装着 ・注射薬混合調製（アンプル、バイアルの取扱い、薬液採取、陰圧操作） ・TPNバッグの取り扱い ・ガウン脱衣
15:10～16:00	情報共有	・事前動画や実技実習に対する質疑応答 ・自施設における注射調剤の問題点や課題の共有

●地域への身近な生涯学習の場として、「がん」に関するテーマで公開講座を実施します。専門家による一般向けの講義を無料で受講できますので、お気軽にご参加ください。

◆2024年度公開講座
次世代のがんプロフェッショナル養成プランとの共催で開催します。

- *開催日時：2024年11月24日（日） 13:00～15:20 【受付開始12:30】
- *開催場所：京都薬科大学 躬行館3階 T31講義室
- *参加費：無料
- *事前申込：必要（申込開始：10月1日）
- *内容：講演① 「アピアランスケアって何？」
国立がん研究センター中央病院 薬剤部 主任 久保 晶子 先生
講演② 「腎疾患から学んだこと：小児科医への道を辿る私の半生と今」
兵庫県立丹波医療センター小児科 医長 市川 裕太 先生
- *生涯研修認定薬剤師制度の単位配付はありません。

■申込方法

生涯教育センターホームページよりお申込みください。 (<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>)

■問合せ先

京都薬科大学 事務局 実務・生涯教育課
*E-mail：s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp
*TEL：075-595-4677
*FAX：075-595-4792



eラーニング講座
申し込みページ



実務支援セミナー
申し込みページ



公開講座
申し込みページ

「薬局・ドラッグストア選考対策ガイダンス」が開催されました

Report

進路支援課

2024年8月6日（火）に、本学進路支援課主催の「薬局・ドラッグストア選考対策ガイダンス」が開催され、対面とオンラインで合わせて59人の学生が参加しました。

本ガイダンスでは、薬局とドラッグストアを志望する5年次生と大学院生を対象に、今後の本選考に向けた心構えや情報収集のポイント、具体的な選考対策について解説がおこなわれました。冒頭に進路支援課職員から、薬剤師に期待される役割も時代とともに今後も変わっていく可能性があるため、本選考に臨むにあたってはそうした中で自身の将来を具体的にイメージしておく必要性についてお話がありました。

続いて講師（エムスリーキャリア株式会社）からは、「就職先の動向を知る」、「キャリアビジョンを描く」、「企業を比較する」の3つのテーマに分けて、自己分析や企業比較の重要性と薬局・ドラッグストア業界の目トピックについて、お話がありました。現役の薬剤師でもある講師からは、早期の内定獲得を目指すのではなく、大学を卒業して最初に入った会社でじっくりとキャリアを形成していけるよう、自分の「軸」に沿って就職先を選んでほしいとのアドバイスがありました。

参加した学生の受講後アンケートには、「志望動機の注意点や採用前後のマナーまで教えていただき、薬局・ドラッグストアに限らず参考になった」という声や「志望動機や自己分析のNG例が今の自分に当てはまる部分もあったため、もっと業界研究、自己分析を深めていかなければいけないと危機感を持つことができた」などのコメントがありました。

進路支援課では、今後も様々なプログラムを実施する予定です。中には学年を問わず低年次からでも参加可能なものもあります。学生の皆さんには、こうしたイベントの機会をぜひ積極的に活用し、自分自身の進路選択に役立てていただければと思います。



進路支援課職員による説明



外部講師による講演

■今後のイベント（予定）

名称	日程	対象	内容
企業・公務員合同研究セミナー	2024年11月9日・10日	全学年 (主に4・5年次生、大学院生)	多数の企業や官公庁（公務員）が出展する会社や業界、職種、仕事等に関する説明会
3薬科大学合同オンラインGD対策セミナー	2024年10月17日、11月15日	4・5年次生	大阪医科薬科大学、神戸薬科大学とオンライン形式で開催するグループディスカッション（GD）の練習会
卒業生に聞く！仕事研究セミナー「研究職」	2024年11月13日	全学年	研究職として製薬企業で活躍されている本学卒業生の講演
病院合同研究セミナー	2025年2月（日程詳細は未定）	全学年 (主に4・5年次生、大学院生)	多数の病院が出展する各病院の特徴と業務内容等に関する説明会

勉強のモチベーション

たちばな さき

立花 咲葵



2022年 学部卒業
放射性同位元素研究センター
(RI研究センター)
フタツカ薬局
(原籍ココカラファイン)
薬剤師

突然ですが、皆様勉強のモチベーションはいかがですか？こんな勉強が将来何の役にたつのか、薬理以外いらないでしょ、テストは過去問を暗記してしまえばいいし、等々。バイトも部活も忙しいし、中々モチベーションなんて上がりませんよね。では、学んだことが仕事の現場で役に立った事例を挙げてみましょう。そんなたいそうな話ではないですが。

私は現在、調剤薬局で薬剤師として働いています。処方せん枚数2,000枚/月を軽く超える大型店舗で、正直患者様ひとりひとりにかけられる時間は少ないです。それこそ、投薬前の最終チェックなんて数秒で終わらせなければならない状況です。だからこそ、持っている知識は多ければ多いほど良いと思うのです。

例えば、こんなことがありました。投薬担当の日、アスピリン原末の投薬が回ってきました。処方内容と薬歴を確認し、患者様を呼び出そうとした直前に、アスピリンは加水分解することを思い出しました。急いで調剤室から乾燥剤を持ってきた

て薬袋に入れ、アスピリン原末と一緒にお渡ししたのです。

大学6年間の勉強内容を全て覚えているのは無理です。でも、そういえばあんなこと習ったよなあ、とぼんやりとでも思い出せることは大事だと思います。こんな勉強意味ないでしょ笑、と思っていたことが、案外役に立つこともあるのです。どうですか、少しはモチベーション高まりましたか？

逆に、モチベーションは高いのに、無性に泣きたくなるときってありますよね。6年次生は特に。意欲は十分、必死に参考書と向き合って、ルーブリーフには頑張った証がたくさんあって、それでもやっぱり不安なこともありますよね。友達と「全然やってない〜い」なんて茶化しあっても、何の慰めにもならないし。そんな時は、思い切って弱音を吐きましょう。そして、自分の頑張りを誰かに肯定してもらいましょう。すると前向きな気持ちになれます。私は何となく家族や友達にはうまく弱音を吐けなかったので、研究室の先生にボロっとこぼしました。あなたが駄目なら京薬生の何人が国試に合格するのだろうか、なんて有難い言葉をかけてもらって、秘書さんの前でボロボロ泣いて、そしてもう少し頑張ろうって前を向けました。

結局何を伝えたいのかわからなくなりました。ごめんなさい。6年間、長いようであつという間です。はじめから無駄なことと思わず、時間を有意義に使って、上手に自分と向き合いながら、日々頑張ってくださいね。

2025年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（夏季募集）

の入学選考結果

Report

入試課

2025年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（夏季募集）の入学選考を8月22日（木）に実施し、8月28日（水）に合格発表を行いました。入学選考の結果は次の通りです。

○2025年度大学院薬学研究科薬学専攻博士課程（夏季募集）

志願者数	8名
受験者数	8名
合格者数	8名

KPU^{NEWS}では、学生・職員の趣味や活動などを「十人十色」と題して幅広く紹介しています。
学生・職員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

地元での音楽との出会い

やまうち よしちか
3年次生 山内 善千夏

私は、2歳年下の弟とともに音楽活動を行っています。バンド名は「山内ブラザーズ」。弟はギターボーカルを、私はカホンやドラムなどのパーカッション、ベースを担当しています。舞台では主にカバー曲の演奏が中心ですが、2人で作詞、作曲した曲をいくつか披露しています。



「山内ブラザーズ」

私の地元である京丹波町は、大学のある山科駅から電車で1時間半ほど離れた京都の中部に位置します。人口が1万人程度の小さな町ですが、伝統文化や行事が盛んに行われています。また、オーストラリアのホークスベリー市と姉妹都市の関係であり、留学生の受け入れも行われています。実際に、私の家でも留学生の受け入れを経験したことがあり、約1か月間生活を共にしました。その留学生は自宅からギターを持参し、自身で作詞、作曲した曲を披露してくれました。美しい歌声とギターのメロディーを聴き、当時7歳であった私は非常に感銘を受け、楽器を弾くことや作曲をすることに興味を持ったのを今でも覚えています。

本格的に音楽を始めようと思ったのは、私の弟が9歳のときにギターを手にしたことがきっかけでした。弟が作曲をし、演奏する姿を見て私は「いつか弟と一緒に音楽を奏でたい」という強い気持ちが生まれました。12歳になった私は、どの楽器を演奏しようか迷いましたが、小学校の授業の一環として和知地区の伝統芸能である和知太鼓を演奏する経験があり、ドラムを演奏しようと決意しました。当然のことながらドラムを叩くことは初めてのことであり、一からのスタートでした。しかし、和知太鼓で培ったリズムを活かし、YouTubeで他の演奏者を見て真似ることで、少しずつ演奏力を身に付けました。そして、弟とようやくセッションができるようになり、バンド「山内ブラザーズ」が結成されたのです。



カホン(手前)とギター(奥)

「山内ブラザーズ」として初めて舞台上に立ったのは、毎年10月に地元で行われている「和音祭」という音楽イベントです。私がドラムを叩き始めて1年目であり、ドラムとギターのみという珍しい楽器構成で音楽を奏でられるか心配でした。しかし、地域の方々からの温かい拍手や応援もあり、楽しんで演奏することができました。当初はこのイベントに出演することを目標にしていたのですが、年齢を重ね、経験を積んでいく中で「聴いてくれる人々の心に響く音楽を作りたい」という気持ちが生まれました。演奏するにあたって、どのようにして感動をお届けするかを考え、アレンジ等を加えて演奏することを心がけています。

現在、私は3年次生、弟は別の大学で1年次生となり、町内のイベントのみならず、お隣の南丹市や、京都府を超えて大阪府でも演奏する機会を得るようになりました。中学や高校のときのように時間を作ることは難しくなりましたが、空いた時間を用いてセッションや本番に向けての打ち合わせを行っています。互いに大学の軽音楽部に入部しており、活動で得たスキルや考えた歌詞を共有しあうことが練習時の日課であり、私の楽しみでもあります。

このように私たちが音楽に出会い、今日まで活動が続けられているのは、この京丹波町で生まれ育ち、地域の皆様からの支えがあるからだと思っています。私はこれからも、地域の健康を守ることでできる薬剤師になれるよう、日々の勉学に努めながらミュージシャンを続け、地域の皆様に少しずつ恩返しをしていきたいです。また、地元で音楽フェスを開催したいという思いがあり、音楽の持つ力で京丹波町を盛り上げていきたいです。



イベントで演奏する様子

はやし みさ
学生実習支援センター 助教 林 美沙

『立て直す力』

上田紀行

中公新書ラクト (2019年)

2024年2月23・24日第29回FDフォーラム「DX・AI時代の高等教育のゆくえ」にて、今回紹介したい本の著者である上田紀行先生のシンポジウムの講演を拝聴しました。その講演中に様々なご著書のお話をされており、とても本の内容が気になりました。そのため、会場にてお話に出てきた著書を購入できるとのことだったので、タイトルに心惹かれた「立て直す力」を購入し読んでみることにしました。

立て直す力

上田紀行

中公新書ラクト

この本を読むまでは、「宗教ってなんだ?」「よく分からんけど、ハマったら怖いかもしれん」という気持ちでした。「立て直す力」は上田先生が体験された宗教に関することなどについてまとめられている本です。様々な宗教やお祭りのことについて書いてあります。宗教によって人生や生きる方向などを見つける事ができるというようなことが紹介されています。この本を読み、とても納得し共感する部分がありました。生きていく上での支えを増やすことが大事だという点です。確かに支えが1つであれば、それが折れてしまっただけでは倒れることはありません。そのため、支えの1つに「宗教」というものがあるのもいいのかもしれないとこの本を読み思いました。

「立て直す力」の中に、「人間の弱い部分に着目して欲しい」という文があり、「弱い部分を知っている人ほど慈悲の気持ちも強いでしょう」とありました。私はこの部分にとっても許された気持ちになりました。

失敗してもそこからやり直したらいいと思わせてくれる本だと思いますので、色々悩まれている人、日々不安感を感じている人は一度読んでみてはいかがでしょうか。

はやし たかし
事務局 学生課 林 貴志

『自転しながら公転する』

山本文緒

新潮社 (2020年)

普段は小説をほとんど読まないのですが、たまたま妻の紹介で読んだ本が思いのほか面白かったので、この場を借りて紹介します。

主人公の都は高校卒業後、東京のアパレルショップで正社員として働き始めます。やりがいを持って働いていたものの、職場の人間関係でトラブルがあり、母が体調を崩したことをきっかけに、実家近くのアウトレットに入るアパレルショップで契約社員として働くことになるのですが、



この小説では、職場の人間関係やセクハラ、恋愛と結婚、親の介護といった身近な問題に直面し、悩み葛藤する都の内面を鋭く描いています。「恋愛に夢中になり、母の世話を疎かにしてしまうことに自己嫌悪」したり、「職場でセクハラを受けたときにフォローしてくれた友達の夫を妬ん」だりと、都の生々しい感情がリアリティを持って描かれているため、都に感情移入し、没頭して読み進めてしまいました。

ちなみに、都が思い悩んだとき、周りにいる母や友人、上司が都を支えてくれるのですが、そのほとんどが女性で、男性は基本役立たずです。父は昭和特有のモラハラの気質があったり、彼氏は肝心なことを話してくれなかったりと、男の私としては耳が痛い部分です。たまにはこのような小説を読んで、人情の機微を学ばなければと感じた次第です。

何はともあれ、エピローグにはどんでん返しも用意されており、読後には爽やかな余韻が残る素敵な作品です。都のように悩んでいる方も、私のようにボーと生きている方も、是非手に取ってみてください。

■コミュニケーションにおける協力関係の大切さ

みなさんは、人とのコミュニケーションが円滑に進むよう、何を意識したり、どのように工夫をしたりしていますか？コミュニケーションというのは、いうまでもありませんが、一方通行ではなく、双方向のやり取りが継続しながら進行していくものです。話すほうは、自分の言いたいことがきちんと伝わっているかどうか、相手の反応を見ながら話したり、聞くほうは、相手が話しやすいよう聞く姿勢を工夫したりといった、実はとても複雑な作業です。そして、会話というコミュニケーションがいったん始まると、そこでは双方の協力関係が必ず必要です。

「会話のキャッチボール」とよく言いますが、実際のキャッチボールでも、投げるほうは相手が取りやすいボールを投げることはもちろんのこと、受ける側も相手が投げやすいように、投げる時の的となるよう手をあげたり、声をかけたりするでしょう。会話で言えば、話者は、相手に伝わる言い方や語彙、内容、伝えるタイミングなどを図りながら話すこと、聞く側は、話者への関心や理解を示すための適度な相槌、視線の向け方、友好的な態度を取りながら聞くこと等が必要となってきます。

そのように、相手が受けやすいように、そして相手が投げやすいように協力し調整し合うことでよいキャッチボールが継続できるわけです。それは、いかなれば、どれだけ相手に対して思いやりをもてるのかということの表れでもあります。「上手く投げられない相手が悪い、うまくキャッチできない相手が悪い」

と相手を責めてばかりいても協力関係は築けません。コミュニケーションを図っているとき、自分自身が相手のことを思っとうまく投げられているのか、あるいは受けられているのかという視点は欠かせないものです。

中には、会話のキャッチボールが得意ではない、コミュニケーションを取ることに苦手意識があるという人もいます。苦手と感じてしまう人は、まずはその理由を考えてみてください。人からそう言われ続けてきたから、伝わったと思ってもらえていることが多いから、雑談が続かないから、等々色々と考えられます。何を理由に苦手と感じているかが分かれば、対応策を取る事ができたり、今までとは別の方法でコミュニケーションを取る事を考えてみたりできるのではないかと思います。

一方で、なぜ苦手意識があるのか、どのように対処していけばいいのかわからないということもあるかもしれません。そんな時は、ぜひ学生相談室を利用してみてください。コミュニケーションについて考えることは、実は、自分自身についての理解を深めることにもつながります。自己理解を深めることで、対処法が見えてきます。ご利用をお待ちしております。

(臨床心理士 上野みな子)

■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、独りで抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。

相談は臨床心理士・公認心理師の資格を持つカウンセラーが担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について幅広い相談をお受けしています。学生ご本人だけでなく、保証人や教職員の方からの相談も可能です。

●相談申込み・問い合わせ先

学生相談室 育心館 4階

相談を希望される方は下記申し込みフォームまたはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。なお、対面相談のほかに、オンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）も実施しております。相談方法につきましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

- ・開室（受付）時間：月～金 8:45～17:15
- ・学生相談室メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp
- ・電話：(075) 595-4672（建部） / (075) 595-4686（上野）

申込フォーム：<https://www.kyoto-phu.ac.jp/contact/support.html>



再任

医療薬科学系薬物動態学分野 助教 河渕 真治
基礎科学系健康科学分野 助教 棚橋嵩一郎
(以上任期：2024. 07. 01～2029. 06. 30)

昇格

事務局入試課 係長 外村 友彦
(前 事務局入試課 主査)
事務局研究・産学連携推進室 係長 山川 晋平
(前 事務局研究・産学連携推進室 主査)
事務局情報管理推進室 係長 北村 聡洋
(前 事務局情報管理推進室 主査)
事務局庶務課 主査 石原 由季
(前 事務局庶務課 主事)
事務局学生課 主査 林 貴志
(前 事務局学生課 主事)
事務局進路支援課 主査 内匠 研介
(前 事務局進路支援課 主事)
事務局実務・生涯教育課 主査 北田 彩
(前 事務局実務・生涯教育 主事)
事務局情報管理推進室 主査 太田 周人
(前 事務局情報管理推進室 主事)
(以上2024. 07. 01付)

兼務解除

事務局庶務課 課長補佐 谷垣 朱美
(兼) 事務局企画・広報課 課長補佐
(2024. 07. 01付)

配置換

事務局教務課 主査 神田 悟
(前 事務局進路支援課)
事務局教務課(兼)国際交流推進室 主査 佐々木雄太
(前 事務局学生課(兼)国際交流推進室)
事務局学生課(兼)国際交流推進室 主査 太田 亮史
(前 事務局研究・産学連携推進室
(兼)国際交流推進室)
事務局進路支援課 主査 太田 寛之
(前 事務局教務課)
事務局会計課 主事 萩 範子
(前 事務局調達検収室)
事務局研究・産学連携推進室 主事 永島真由実
(前 事務局教務課)
(以上2024. 07. 01付)

退職

事務局会計課 主事 五十嵐洋子
(2024. 06. 30付)
基礎科学系一般教育分野 准教授 今井 千壽
(2024. 07. 31付)

病態生理学分野の戸田助教がFrankfurt Cancer Conference の 口頭発表者に選抜されました

Report

病態生理学分野の戸田侑紀助教が2024年8月28日(水)～30日(金)にドイツで開催されたFrankfurt Cancer Conference において口頭発表者として選拔され、発表を行いました。

演題: Dysregulated acidity of pre-metastatic niche targeted by pH Low Insertion Peptide

演者: Yuki Toda, Toma Matsui, Haruka Sato, Momone Saratani, Anna Moshnikova, Oleg A Andreev, Shigekuni Hosogi, Yana K Reshetnyak, Eishi Ashihara

■臨床薬剤疫学分野の冨瀬 諒助教と青戸和宏さんが京都府薬剤師会病院診療所薬剤師部会において優秀学術論文賞を受賞しました

2024年5月19日（日）に開催された京都府薬剤師会病院診療所薬剤師部会において、臨床薬剤疫学分野の冨瀬 諒助教と青戸和宏さんが優秀学術論文賞を受賞しました。

受賞：臨床薬剤疫学分野 助教 冨瀬 諒

演題：Risks of malignant lymphoma in rheumatoid arthritis patients receiving methotrexate-alone and in combination therapy compared with the general population: A study based on a Japanese medical claims database

演者：Ryo Inose, Arisa Nakamura, Rina Omi, Shujiro Takeno, Yuichi Muraki



受賞：臨床薬剤疫学分野 博士課程2年次生 青戸 和宏

演題：Comparative effectiveness of cefmetazole versus carbapenems and piperacillin/tazobactam as initial therapy for bacteremic acute cholangitis: A retrospective study

演者：Kazuhiro Aoto, Ryo Inose, Tadashi Kosaka, Keisuke Shikata, Yuichi Muraki



■代謝分析学分野の布施田莉子さんが第33回金属の関与する生体関連反応シンポジウムにおいてポスター賞を受賞しました

2024年6月7日（金）～8日（土）に開催された第33回金属の関与する生体関連反応シンポジウムにおいて代謝分析学分野の布施田莉子さんが、ポスター賞を受賞しました。

受賞：代謝分析学分野 6年次生 布施田 莉子

演題：副腎アルドステロン合成酵素（CYP11B2）を標的としたイメージングプローブの開発
Development of Molecular imaging probes targeting adrenal aldosterone synthase (CYP11B2)

演者：布施田莉子、屋木祐亮、安井裕之、木村寛之



■衛生化学分野が報告した学術論文がBiol. Pharm. Bull. 誌のFeatured Articleに選出されました

衛生化学分野が報告した学術論文がBiol. Pharm. Bull. 誌のFeatured Articleに選出されました。

タイトル：Altered Expression of Astrocytic ATP Channels and Ectonucleotidases in the Cerebral Cortex and Hippocampus of Chronic Social Defeat Stress-Susceptible BALB/c Mice

著者名：Yuka Nishioka, Kana Hayashi, Katsuya Morito, Kentaro Takayama, and Kazuki Nagasawa

掲載巻号：Biol. Pharm. Bull. 47, 1172-1178(2024)

Webサイト：https://www.jstage.jst.go.jp/article/bpb/47/6/47_b24-00236/_article/-char/en

■一般教育分野の坂本尚志准教授のコメントが2024年7月9日の読売新聞に掲載されました

一般教育分野の坂本尚志准教授のコメントが2024年7月9日の読売新聞に掲載されました。

読売新聞オンラインよりご覧ください。

<https://www.yomiuri.co.jp/culture/book/articles/20240708-OYT8T50112/>

※外部サイト

■ 本学創立140周年を記念し、理事長・学長のインタビュー記事が薬事日報に掲載されました

本学創立140周年を記念し、理事長・学長のインタビュー記事が薬事日報（2024年7月24日）に掲載されました。

第1293号 (第3版) 薬事日報 2024(令和6)年7月24日 水曜日 (4)

研究力兼ね備えた薬剤師育成

京都薬科大学創立140周年



北村が理事長と西崎学長

「研究力兼ね備えた薬剤師育成」を掲げる京都薬科大学は、創立140周年を迎えました。本学は、薬学教育の発展と社会貢献を目的として、1884年に創立されました。140年という長い歴史の中で、数多くの卒業生が社会で活躍しています。現在は、最新の研究設備を整え、高度な研究力と実践力を兼ね備えた薬剤師の育成に取り組んでいます。特に、基礎研究と応用研究の両方を重視し、学生が最先端の科学に触れる機会を多く提供しています。また、国際的な視野を養い、グローバルな環境で活躍できる人材の育成も重要な課題としています。140周年を機に、さらなる発展と社会貢献を目指して、新たな挑戦を続けていきます。

研究の京薬は健在

西崎学長は、研究の重要性を強調しています。薬学は、常に最新の知見に基づいて進化していく学問です。学生は、基礎的な知識を身につけ、さらに高度な研究能力を養う必要があります。本学では、教授陣が最新の研究成果を発表し、学生に最新の知見を伝える機会を多く提供しています。また、学生が自ら研究に取り組む機会を多く提供し、研究力向上に努めています。研究は、社会の発展に大きく貢献します。京薬の研究力は、これからも健在であり、さらなる発展を遂げることを目指しています。

臨床薬学教育にも注力

北村理事長は、臨床薬学教育の重要性を強調しています。薬剤師は、患者の健康を守るために重要な役割を果たします。そのため、実践的な臨床能力の育成が不可欠です。本学では、基礎的な薬学知識に加え、臨床現場での実践能力を育成するために、臨床薬学教育に注力しています。学生は、臨床現場での実習を通じて、実践的なスキルを身につけます。また、最新の臨床研究に基づいた教育を提供し、学生が最新の臨床現場に対応できるように努めています。臨床薬学教育の充実により、高品質な薬剤師の育成を目指しています。

京都薬科大学は、創立140周年を迎えました。140年という長い歴史の中で、数多くの卒業生が社会で活躍しています。現在は、最新の研究設備を整え、高度な研究力と実践力を兼ね備えた薬剤師の育成に取り組んでいます。140周年を機に、さらなる発展と社会貢献を目指して、新たな挑戦を続けていきます。

社会を豊かにする薬学へ、
京都薬科大学
〒607-8614 京都府京都市山科区御陵中内町5
075-585-4881 (代表)
<https://www.kyoto-phu.ac.jp>

(5) 第1293号 (第3版) 薬事日報 2024(令和6)年7月24日 水曜日

学びやすい環境を整備

高いストレート合格率

「学びやすい環境を整備」を掲げる京都薬科大学は、高いストレート合格率を達成しています。本学では、最新の教育設備を整え、学生が学びやすい環境を提供しています。また、高度な研究力と実践力を兼ね備えた薬剤師の育成に取り組んでいます。特に、基礎研究と応用研究の両方を重視し、学生が最先端の科学に触れる機会を多く提供しています。また、国際的な視野を養い、グローバルな環境で活躍できる人材の育成も重要な課題としています。140周年を機に、さらなる発展と社会貢献を目指して、新たな挑戦を続けていきます。

生涯教育で研究実施支援

「生涯教育で研究実施支援」を掲げる京都薬科大学は、研究実施支援に取り組んでいます。本学では、最新の研究設備を整え、学生が研究を実施しやすい環境を提供しています。また、高度な研究力と実践力を兼ね備えた薬剤師の育成に取り組んでいます。特に、基礎研究と応用研究の両方を重視し、学生が最先端の科学に触れる機会を多く提供しています。また、国際的な視野を養い、グローバルな環境で活躍できる人材の育成も重要な課題としています。140周年を機に、さらなる発展と社会貢献を目指して、新たな挑戦を続けていきます。

2025年度より新入試制度を導入します

京都薬科大学では、知識や技能だけでなく、論理的な思考力や表現力を兼ね備えた学生を今まで以上に積極的に受け入れるため、2025年度入試から一般選抜における入試制度を変更します。

入試方式	科目	試験科目	試験科目
A方式	共通テスト利用型	45	数学、化学、英語、物理、生物、地学、歴史、地理、外国語、芸術、体育、保健体育、家庭科、総合科目
C方式	共通テスト利用型	5	数学、化学、英語、物理、生物、地学、歴史、地理、外国語、芸術、体育、保健体育、家庭科、総合科目
B方式	一般選抜型	150	数学、化学、英語、物理、生物、地学、歴史、地理、外国語、芸術、体育、保健体育、家庭科、総合科目
新設	一般選抜型	20	数学、化学、英語、物理、生物、地学、歴史、地理、外国語、芸術、体育、保健体育、家庭科、総合科目

京都薬科大学は、知識や技能だけでなく、論理的な思考力や表現力を兼ね備えた学生を今まで以上に積極的に受け入れるため、2025年度入試から一般選抜における入試制度を変更します。

社会を豊かにする薬学へ、
京都薬科大学
〒607-8614 京都府京都市山科区御陵中内町5
075-585-4881 (代表)
<https://www.kyoto-phu.ac.jp>

■ 理科実験講座「身近な夏の不思議体験2024イン山科」が京都新聞に掲載されました

地域の小学生を対象とした理科実験講座「身近な夏の不思議体験2024イン山科」が京都新聞（2024年7月29日）に掲載されました。

令和6年(2024年)7月29日 (月曜日) 本版 朝刊 京都総合 朝刊 021ページ

子ら科学の不思議さ触れ

山科で催し 植物の色素変化実験

子どもたちに科学への興味を深めてもらう夏のイベント「身近な夏の不思議体験」が28日、京都市山科区の京都薬科大で開かれた。地元の小学生約90人が白衣や保護ゴーグルをつけて科学者気分を味わいながら色水実験を行い、植物に含まれる色素の不思議な性質に触れた。

同大学と山科区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会が毎年、区内の小学4～6年を対象に開いている。今年は、ムラサキイモやナスなどに含まれる色素



ムラサキイモ液の色が変わる実験を行う児童 (京都市山科区・京都薬科大)

「アントシアニン」を題材に実験。アルカリ性や酸性に反応して色が変わる性質があり、子どもたちはムラサキイモの粉を溶かした紫色の液をつくり、レモン汁など身近な6種類の液を垂らして色の変化を観た。

ムラサキイモ液はレモン汁や酢など酸性の液を垂らすと赤色に、虫刺され薬や重曹などアルカリ性の液では青色や緑色に一瞬で変化した。子どもたちが驚いた表情を見せた。大宅小5年の大谷真緒さん(10)は「色が変わる様子がとても面白かった。今回実験できなかったジュースとかを家で試してみたい」と話していた。(川辺晋矢)

© 京都新聞社 無断複製・転載を禁じます

京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.

掲載記事については
本学公式Webサイトよりご覧ください。
<https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph/>



下記の方々からご寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

- * 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則及び学生便覧に掲載させていただきます。
- * 敬称略、芳名のみ掲載しております。
- * 100万円以上を頂いた方は、愛学館エントランス『京都薬科大学 高額寄附者顕彰銘板』にも掲載させていただきます。

2024年6月～2024年8月にご寄附をお寄せいただいた方々

＜ 卒業生・同期会等（五十音順）＞

東 富雄	野儀優比子
奥川 信子	森田 和子
奥川 斉	森田 優佳
谷手 智	

＜ 企業・団体・一般 ＞

キノンビクス株式会社

＜ 法人役員・評議員・職員（五十音順）＞

磯部 正文（職員）	高田 眞介（課長）	中谷 庄吾（課長）
蛸谷 大介（評議員）	高野 江里（課長）	

（2024年8月31日現在）



KPUnews No. 219 2024年10月発行／編集：KPUnews編集委員会
発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691（企画・広報課）

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。